

## 6 BTCからのお知らせ

### 日高育成総合施設 軽種馬育成調教場の施設紹介

今回は、日高育成総合施設軽種馬育成調教場にあるいくつかの馬場のうち、直線砂馬場に設置されているタイム計測用のハロンシグナル装置について紹介したいと思います。

#### 1,600m直線砂馬場に設置されているハロンシグナル装置

軽種馬育成調教場には直線砂馬場コースは、1,200m および 1,600m の 2 本ありますが、共に幅員 10m で砂厚 10cm と深めに設定されていることで、馬の心肺機能と筋腱の鍛錬が図れるとともに、スピードトレーニングにも適しているため、積雪、凍結期を除き頻繁に使用されています。

今回、BTC のダート 1,600m 直線砂馬場に新しく開発され設置された国内初のハロンシグナル装置を紹介します（図 1）。

屋外の 1,600m 直線砂馬場は、屋内直線馬場（直線 1,000m・ウッドチップ）に隣接しています。スタート地点にはゲートが置かれ、長い走路には全くコーナーがありません。緩やかに加速できるため、若馬の鍛錬、休養中の古馬の調整などに最も適していると考えられ、数多く利用されています。これまで、馬場が長い直線のため、双眼鏡を使ってもハロン毎のラップタイムが視認できず、タイムを測れないことから、何とか改善できないものかという施設利用者からの要望を受け、試行錯誤の末にようやく本装置が生まれたものです。ハロン（200m～1,200mの間）ごとにセンサーの付いた棒が立っており、馬がその地点を通過するとシグナルが点灯して、遠方からでもそれを確認することができ、タイムを計ることが出来ます。

この装置の運用は 2007 年 5 月 14 日から実用化され、基本的なハロンタイム計測が容易に行えるようになりました。



屋内直線監視所からの眺望

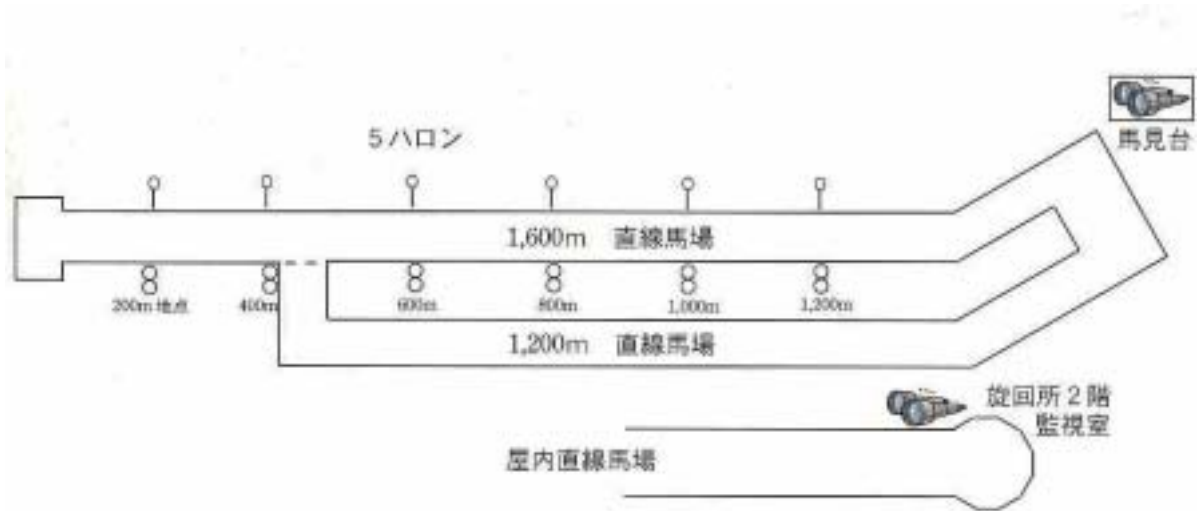


図1 ハロンシグナル装置の設置状況



ハロン棒の前面



ハロン棒横のシグナルライト



シグナルライトの点灯状況



センサーの設置状況